

て漁夫の云ふ所によるも此種の砂濱は年々其幅を増加しつゝありと云ふ、

三、口碑傳説——全縣三津町に於ては現今の海岸より十數町の内地に於て「潮くゞり」と稱する岩あり往時は潮汐此地點迄及びしものなりと傳ふ之れ一面には全地を流るゝ大川の堆積作用なるべし然れども此川は雨期のみ水あるの川にして且古生層地を流るゝが故に花崗岩地の如く多くの土砂を流下せざるものなれば其三角洲の發達が斯く急激なりとするは土地の隆起によらざれば説明し難し其他潮水の退下、港底の急激なる隆起等に關する口碑傳説は沿岸一帯の地に至る所に在り、(西龜正夫)。

●臺灣に於ける熱帶温帶の界標 臺灣總督府

にては今回開院宮殿下の臺臨を機とし同島に於ける熱帶温帶の境界地點に界標を建設するに決し十月二十二日より急速工事中なりしに二十六日其落成を告げたり而して其形狀は四角形にして地盤より二十四尺の個所に直徑五尺周圍十五尺餘の地球儀を据付け經緯度を示し最上部に熱帶温帶の標界を顯して南北の方位を示したるものにし

て位置は嘉義廳下水堀頭の中央より約十町の南方にありと云ふ。

●竹島の位置新測 隠岐列島の北西方にある竹島

は嘗て本誌(三九年六月第二一〇)上に記載せしが本年海軍水路部の測定によれば同島は隱岐列島の北西約八十哩にあり。該二嶼中の東嶼(女島)は北緯三七度一四分八秒東經一三二度五二分二二秒なりと云ふ官報(第七五九七號四一年十月廿一日)

●鴨綠江森林の伐採 九月十一日調印せられたる

鴨綠江木材會社は大體に於て日清合辦と云ふをに一致せり。而して其伐木區域は北京協約に在りたる如く、鴨綠江帽兒山より二十四道溝に至る右岸江面六十清里の間にして目下會社は伐材の方法に關して森林狀態を酌量し濫伐を禁し以て水害を防ぎ農耕の福利を計らんと商議しつゝあり。蓋し本會社の成立と共に從來鴨綠江森林の清人に依りて經營せられし會社は消滅するものにして爾今清國警察は會社の營業に關し各方面の事項を監督すと云ふ。

●哈爾濱市の新施設 露國政府がウラヂホストク

及ニコラエウスク兩港に於ける現行自由貿易制を一九〇八年限り廢止したる件に關與し此程哈爾濱市にては右

地學雜誌第貳拾年第貳百參拾九號

明治四拾壹年拾壹月拾五日刊

目次

東京地學協會記事

◎理事會例會及評議員會

雜報

◎猪苗代湖水質

◎琵琶湖航運業現況

◎瀬戸内海岸の變動に就て

◎臺灣に於ける熱帶溫帶の界線

◎竹島の位置新測

◎鴨綠江森林の伐採

◎哈爾濱市の新施設

◎ダニエロフ川伏流

◎ダガナ

◎ヘアリー氏の新北極探検

◎シヤルコー氏南極探検

◎會長榎本子爵肖像并略傳

論說

◎將に來らんとする大探檢家スエン、フォン、ヘディン氏

理學士 山崎直方

◎大島火山の過去及現在(承前)

理學博士 中村清二
理學博士 寺田寅彦
理學士 石谷傳市郎

雜錄

◎モンテシユエ、ド、パロール氏「地震地理學」

理學士 小川琢治

◎清國內地旅行談(承前)

工學博士 塚本靖

地理教授資料

◎有用鑛物の發見に就て(承前) 理學士 淺井郁太郎

附圖

◎第二十年第十三版伊豆三原火山

第一圖 東側火山壁の成層

第二圖 火山口底 P に於ける奇形の熔岩